



文化の灯輝いて



和田の世帯数・人口

世帯数	1,454戸
人口	4,185人
男	2,027人
女	2,158人

(平成29.11.1現在)

11月5日(日)、第45回和田地区芸術文化祭が開催されました。晴天に恵まれ、多くの方々が公民館へ足を運んでくださいました。

ステージ発表では、芝沢小学校金管バンドの演奏から始まり、歌唱や楽器演奏、フラダンスと日頃の練習の成果を發揮されました。

作品展示では保育園の子どものたちの絵、手芸、工芸品、写真、盆栽、生け花とバラエティに富んだ作品が並びました。ボランティア和田と女性役員の皆さんのおにぎりとおでんでお腹も満たされました。

文化祭実行委員会の皆さんのおかげで楽しい秋の一日となりました。



野点

ステージ発表



カラオケ



芝沢小金管バンド



フラダンス



ウクレレ



絵画



ハーバリウムなど

展示発表



盆栽

菊

生け花

児童センターの工作

和田保育園児の絵

文化祭に向けて 手芸講座開催

9月20日に手芸講座が開催されました。

ドライフラワーのリース、木の実のリース、最近人気のハーバリウムなどを西原手芸サークルの西村和美さんをはじめスタッフのみなさんの指導で作製しました。

たくさんさんのドライフラワーなどを準備していただき、それぞれに好きな材料を選びました。目移りし迷いながらも素敵な作品ができあがりました。

参加したみなさんからは、「工夫をして色あいを考えるのが楽しかった」「また作ってみたい」「最初のイメージと、オイルを入れ完成したときのすばらしさに感動した」など、とても好評でした。

指導していただいた西村さんからは「11月の文化祭のための企画として開催しました。今、流行りのハーバリウムも作製してみました。多くの方が参加できる文化祭になってほしいですし、交流の場としてもこういった講座を活かしていきたいです」と感想をいただきました。



ハーバリウム

「11ぴきのねこふくろのなか」を読んだ



わたしは「11ぴきのねこふくろのなか」を

読みました。ねこたちは、かんばんに書いてあるやくそくをなんかいもまもらなかったで、ふくろにとじこめられて、大きなげもの山のしるにつれていかれました。いろいろやらされることになりましたが、「しょくん、まけてはいけない。われわれ11ぴきはつよいねこなんだ」「元氣を出そう。なにかいいほうほうはないか?」とゆう気をもって、つぎの日さくせんを考えて、大きなげものをたおしたすかりました。

かえるとき、やくそくをまもらなかった11ぴきのねこたちが「わたるな」と書いてあるかんばんのいうとおり、やくそくをまもって、みちをわたらずほどうきょうをわたって、ぶじにかえられたので、よかったね、と思いました。

みんなやくそくをまもって、かんばんのいうとおりにするのがすごいと思いました。

蘇我 小2 新井 美羽

ウォークラリーに 参加して

和田地区地域づくりセンターの職員として二年目になります。なかなか町会の位置関係等がわからずに苦慮しておりました。そんな中、一年目からこのウォークラリーに参加し、各町会を歩くことで、風景を眺めながらそれぞれの特色を感じ、一歩ずつ和田地区のことがわかってきたような気がしています。

ただ歩くだけでなく、クイズを解いたり、特色ある場所の説明を聞いたりして楽しく巡り歩くことができました。今年も参加して良かったと思います。

お昼にいただいた豚汁とおにぎりも美味しかったです。

一参加者

町会紹介④ 南和田町会

明治7年に、8か村が合併し、「和田村」ができたとき、太子堂と分かれていなかった南和田は、99戸、人口456人で、和田村では最も人口の多い区でした。(太子堂との分区分は昭和6年)平成29年1月1日現在、世帯数116戸、

人口337人(男167人・女170人)の和田では比較的小規模の町会です。

当町会

では毎年4月に定期総会が開かれるほか、毎月28日には常会が開かれ、そこでの話し合いをもとに町会の運営が行われています。主な町会事業としては、常会対抗ソフボール大会、親睦会、南和田神社の祭典、敬老祝賀会、ふれあい健康教室、庚申様のお祭り、用水路の鍵役などがあります。

このうち、ふれあい健康教室は、年間3回(出前2回、自主1回)開催され、毎回30人ほどが参加しています。参加者は女性が多く、男性の参加が少ないのが現状です。内容は、体力測定・軽い運動・ゲーム・童



南和田公民館



ふれあい健康教室

謡を歌うことなどいろいろなメニューを取り入れ楽しんでいます。3回のうち1回はボランティアの皆さんに、カレーライスを作ってもらった昼食会を行い、他の2回は茶話会でコミュニケーションを図っています。

敬老祝賀会は毎年9月の初めに真光寺の庫裡で実施しています。毎年大勢の皆さんが出席され、アトラクションや祝宴等で楽しんでもらっています。真光寺の境内には観音堂があり、毎年9月17・18日に、町会役員が、幟や提灯を飾ってお祭りを実施しています。この観音堂は「蚕玉様」とも呼ばれており、この地がかつて養蚕が盛んであったことが偲ばれます。

少子高齢化に伴い、本町会でも町会役員の選出や行事への参加者の募集などで課題が出てきています。

松本マラソンを 走って

衣更えを想う朝、寒暖計は9度。

雲ひとつない青空のもと、上高地線の始発に乗って松本駅へ向かいました。スタート地点である浅間の総合体育館

行きのシャトルバスは、誘導が行き届いており、とてもスムーズに利用できました。会場に着く頃には、気温も上がり長袖では暑いくらい。プロックに整列し、菅谷市長のお話を聞きながら屈伸したり、時計を見たり。そうこうしているうちに号砲。いよいよスタートです。

松本城まで気持ち良く下ります。沿道にはたくさんの方々の声援。道幅が狭いぶん、かえって親近感が湧き、序盤からハイテンション。相澤病院を横目に並柳を過ぎると、上野村に入り、田園風景が広がります。赤く色づき始めた山々、稲刈りの終わった田んぼに心は踊り足も弾みます。

コースは細かいアップダウンの繰り返し。えびの子大橋を必死で渡りきり、スカイパークを目指します。25km地点までは、途切れなく続く沿道の応援に励まされ、順調なペースで走ることが出来たのです……が、待っていました終盤の壁。27km付近でフィニッシュ会場の陸上競技場を通り過ぎます。トップ選手のゴールのアナウンスが聞こえる中、二子方面に5km下ります。エイドには、リンゴ、バナナ、梅

干しが並んでいるのですが、暑さのせいかわが胃が受けつけません。帰りの上りで足が悲鳴を上げました。

かぶり水と書かれたポリバケツから柄杓で水をすくい、パ



フィニッシュ地点

ンツの中に流し込み気合を入れます。やまびこドームを迂回すると、最後の上りが待っていました。歩くことの誘惑と必死に戦いながら、やっと完走できました。

暑くて辛い42・195kmでしたが、ボランティアさんの心遣いというひと筆が加わり、幸せなゴールになりました。ありがとうございます。

西原 萩原 憲治

編集後記

今年も早いもので、12月を残すのみとなってしまいました。

11月号は運動会の記事が恒例でしたが、今年は中止でしたので、文化祭をメインにしました。

少々気が早いですが、皆様良い年をお迎えください。

上條・田中・塩原